

- 問1 戦国時代、石見銀山などの鉱山開発が各地で盛んに行われた背景として、戦国大名が銀を求めた主な目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため | 2. 農村での貨幣経済を禁止し、年貢をすべて銀で納めさせるため | 3. 朝廷から高い官位を得るための献上物として独占するため | 4. キリスト教の布教活動を支えるための寄付金として活用するため |
|------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
- 問2 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国（分国）内の武士や民衆を統制し、領国内の秩序を維持するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|----------|----------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 分国法 | 3. 御成敗式目 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|--------|----------|----------|
- 問3 戦国大名は軍事力だけでなく、経済力を高めるために石見銀山などの鉱山開発を進め、石州銀と呼ばれる銀貨を流通させるなど、領国の経営に力を入れました。このような大名たちが、領国内の家臣の統制や紛争解決、土地の支配を目的として制定した「分国法」の性格について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| 1. 村々が自衛のために組織した「惣」において、農民たちが話し合って決めた決まりである。 | 2. 幕府が全国の武士に対して一律に守らせるために制定した、全国共通の法律である。 | 3. 朝廷が定めた律令を補い、貴族の土地所有権を保護するために制定された法律である。 | 4. 各戦国大名が、自分の領国の実情に合わせて独自に制定した法律である。 |
|--|---|--|--------------------------------------|
- 問4 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した日本最大級の銀山で、2007年に世界文化遺産に登録された場所を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 佐渡金山 | 2. 石見銀山 | 3. 生野銀山 | 4. 別子銅山 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 16世紀の戦国時代、室町幕府の権威が衰退する中で、各地の実力者である戦国大名が自らの領国を独自に統治するために制定した法律を何と叫ぶか、名称を答えなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|----------|--------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 御成敗式目 | 4. 分国法 |
|-----------|------------|----------|--------|
- 問6 戦国時代において、下の身分の者が上の身分を圧倒する「下剋上」の風潮が広まった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 幕府が強力な中央集権体制を確立し、地方の武士に直接命令を下すようになったため。 | 2. 農業技術が向上したことで農民が完全に自立し、武士による支配が消滅したため。 | 3. 応仁の乱によって幕府の支配力が弱まり、各地で実力による領国支配が行われるようになったため。 | 4. 朝廷が新しい官位制度を導入し、能力に応じた地位をすべての人々に与えたため。 |
|--|--|--|--|
- 問7 鎌倉時代において、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した目的や背景を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 平将門の乱を鎮圧した後に生じた関東地方の混乱を抑えるため、貴族の法律である律令を武士にも厳格に適用することを目的とした。 | 2. 今川義元などの戦国大名が分国法を作ったことに対抗し、全国の武士が幕府に対して絶対的な忠誠を誓うための精神的な規範を示す必要があった。 | 3. 元寇（モンゴル襲来）による出兵で困窮した御家人の不満を解消するため、借金を無償で帳消しにする徳政令の仕組みを全国に広める必要があった。 | 4. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と、貴族などの荘園領主との間で土地をめぐる争いが増えたため、公正な裁判の基準を設ける必要があった。 |
|---|---|--|--|
- 問8 戦国時代、現在の福井県にあたる北陸地方の要所に位置し、戦国大名の朝倉氏が有力な家臣を城下町へ集住させて築き上げた拠点の名称を選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 一乗谷 | 2. 山口 | 3. 小田原 | 4. 安土 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問9 戦国大名が、室町幕府の法律があるにもかかわらず、独自に分国法を制定する必要があった背景として最も適切な理由はどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. キリスト教の布教を制限し、仏教を基盤とした道徳的な領国経営を行う必要があったため。 | 2. 室町幕府の支配力が弱まり、大名が自力で領内の武士を統制し、領民を保護して団結させる必要があったため。 | 3. 元寇による社会の混乱を鎮め、分割相続によって困窮した御家人の生活を救済する必要があったため。 | 4. 貨幣経済が浸透し、外国との貿易による利益を独占するために全国共通の商業ルールが必要になったため。 |
|--|---|---|---|
- 問10 14世紀から15世紀にかけて、室町幕府の支配力が次第に弱まり、幕府の権威が失墜していきました。このような社会情勢の中で、下の者が実力で上の者を倒して地位を奪う風潮が広まりましたが、この風潮を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 下剋上 | 2. 大政奉還 | 3. 門閥政治 | 4. 尊王攘夷 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問11 戦国大名の武田晴信（信玄）が定めた「甲州法度之次第」のように、大名が独自に法を定めた背景を説明した次の文の（ ）に当てはまる語句を答えなさい。「戦国大名は、幕府の法が及ばなくなった自分の（ ）において、家臣の勝手な婚姻を制限したり、領民を管理したりすることで支配を強化しようとした。」 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 1. 藩 | 2. 幕領 | 3. 領国 | 4. 荘園 |
|------|-------|-------|-------|
- 問12 加賀の一向一揆が、同時期に発生した「土一揆」などの他の社会運動と異なり、守護大名を倒して約100年もの長期にわたる自治を維持できた最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 惣村と呼ばれる村の自治組織が、室町幕府の将軍から直接的な軍事的支援を受けていたから。 | 2. 守護大名が自ら権限を放棄し、農民たちに土地の所有権と徴税権を全面的に譲渡したから。 | 3. 加賀国においてのみ、鉄砲などの新式兵器を導入するための自由貿易港が独占的に認められていたから。 | 4. 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。 |
|---|--|--|---|
- 問13 応仁の乱ののち、実力で領地を広げた戦国大名が、自らの領国内を統治し、家臣や民衆を支配するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------|---------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 御成敗式目 | 3. 分国法 | 4. 建武式目 |
|----------|----------|--------|---------|